

# 第2回市議会定例会報告

日本共産党八王子市議会議員団ニュース

## 移動のためのガイドヘルパー 小学生から使わせて

副市長「より利用しやすい制度となるよう考える」

前向きな答弁  
引き出す



石井  
ひろかず

横田  
基地

### 米軍の危険な訓練と事故 をくりかえさないように

4月中旬、横田基地所属の米軍輸送機が、飛行中に1キロ近い重さの部品を紛失する事故がありました。昭島市やあきる野市などには国からこの情報が提供されましたが、八王子市には連絡がありませんでした。重大事故になった可能性もあるにもかかわらず、米軍はどこを飛んだかも秘密にしており、こうした情報提供を市として求めるよう質し、市も国に求めると答えました。

### 市「低周波騒音の調査続ける」



特殊作戦機  
オスプレイの  
夜間低空飛行  
訓練も市民生  
活を脅かして  
います。私  
は、低周波騒  
音の測定を続

けている市が、どう被害を把握しているか質問しました。市は、家屋の揺れなど市民からの苦情を受けており、データの収集を続けると答えました。事故率も高いオスプレイの市街地での危険な訓練をやめさせるために声を上げていきたいと思います。

「保護者の同伴なしに自主的に外出する機会が多くなるのは中学生から」という市の答弁に対し、私は「障害があることで、散歩やスーパーのおつかいなどの日常的な外出にも困難を抱えているからこそ、自治体の支援が必要」と対象を小学生まで拡大するよう求めました。副市長からは「令和6年度からの次期障害者計画等の策定に取り組んでおり、その中で総合的な視点を持ってより利用しやすい制度となるよう考えていく」と答弁がありました。

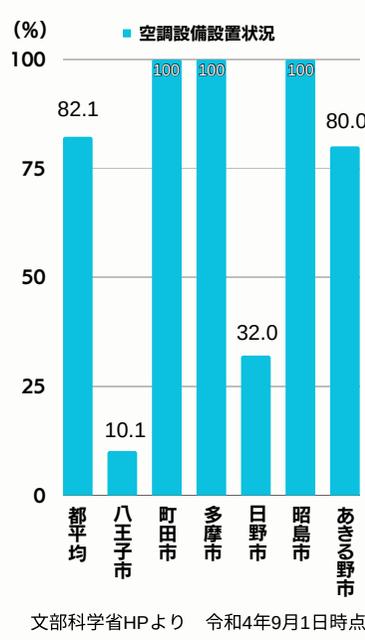
障害者の移動支援の対象者を小学生以上からと定めている自治体(多摩26市)を黄色で色分け



移動支援の利用が中学生以上で小学生を対象外としているのは八王子市、町田市、稲城市、この3市のみ

### 教育長「猛暑の中での授業は避けるべき」

教育長からは「猛暑の中での体育授業や部活動など通常通り行うことは避けるべき」との方針。一方で学校施設の有効活用観点から効果的な手法の検証を進めていく旨の答弁がありました。引き続き学校体育館空調機の全校設置・子どもたちの命を守る教育環境整備を求めていきます。



### 八王子格差なくせ!

子どもたちから切実な声  
「なんで使えないの!」

都内自治体における体育館空調機の平均設置率は8割以上となっている一方で、市は1割程度にとどまっています。しかし市教委は「現在の計画が完了すれば終了」と表明しています。使用方針も授業や部活動で使用しないとしています。この方針によって、子どもたちから「なぜエアコンが使用できないのか」「早くエアコンをつけてほしい」と切実な声が寄せられています。私は体育館空調機の全校設置を進め授業や部活動で使えるようにすべきと求めました。

障害児移動  
支援の充実



わたばやし  
ゆか

初質問

「外出・移動の保障を  
全ての子どもたちに」

学校体育館  
空調機設置



望月  
しょうへい

「早くエアコンつけて」



ホームページQRコード

# 市民の命と暮らしを守れ!共産党市議団、国に対し意見書を提案

## 議員提出意見書に対する各会派・議員の態度

※鈴木玲央議員は議長のため採決に加わらず

会派	議員名	PFAS汚染	健康保険証
共産党	綿林夕夏、望月翔平、市川克宏、石井宏和、鈴木勇次	○ 賛成	○ 賛成
立憲民主市民の会	浜野正太、九鬼ともみ、森喜彦、安藤修三、小林裕恵	○ 賛成	○ 賛成
諸派	玉正彩加、金子亜希子、山本貴士 <small>(生活者ネットワーク) (生活者ネットワーク) (参政党)</small>	○ 賛成	○ 賛成
	及川賢一、星野直美 <small>(無所属) (無所属)</small>	○ 賛成	✗ 反対
	高橋剛、船木翔平 <small>(都民ファーストの会) (無所属)</small>	✗ 反対	✗ 反対
新政治家	大竹利明、長谷川順子、内田由香利、立川寛之、西室真希、岸田功典、小林秀司、川村奈緒美、馬場貴大、吉本孝良、福安徹、岩田祐樹	✗ 反対	✗ 反対
公明党	古里幸太郎、森重博正、日下部広志、富永純子、渡口禎、美濃部弥生、中島正寿、久保井博美、五間浩、村松徹	✗ 反対	✗ 反対

## PFAS汚染 横田基地検査を



共産党市議団は、有機フッ素化合物(PFAS)の汚染源と言われている横田基地への①国の責任での立ち入り調査と公表②国が新たな水質基準を定め、健康被害を抑えるための医療的ケア方針を定めることを国に求める意見書を提案しました。

## 健康保険証を廃止しないで

共産党市議団は、「健康保険証を廃止しないよう求める意見書」を提案し、石井ひろかず議員が提案説明を行いました。

マイナンバーカードの取得と利用を進めるために、政府は来年秋に紙の健康保険証を廃止する方針にしました。しかし、マイナンバーカードをめぐるのは、他人の口座のひもづけや、健康保険証として利用する際に、本人確認ができなかったり間違った情報が出てきたりするトラブルが続いています。別人の情報で、病歴や体質に合わない薬を服用させられたりすれば命にも関わります。

提案した鈴木ゆうじ議員は、沖縄や神奈川県でも米軍基地からの汚染が広がり立ち入り検査が行われたことを紹介しました。また、「本市住民はもとより都民の健康と命に係わる問題だ。横田では兵員だけでなく家族、日本人労働者も敷地内の地下水井戸を飲料水にしている。一刻も早い対策が必要だ。原因究明なくして対策は執れない。党派の垣根を越えて市議会での役割りをしっかり果たそう」と呼びかけましたが、自民・公明などの議員により否決されました。



マイナンバーカード取得は任意であり、持たない方も少なくありません。

健康保険証を廃止した後は、申請に基づき、1年を限度とする資格確認書を発行するものとしていますが、これまで不要だった申請を行うことは市民にとって大きな負担です。高齢者や障害者、病気療養中の方などはさらに困難を強いられます。マイナ保険証対応を強いられる医療機関や薬局の負担も大きく、廃業に追い込まれた例もあります。意見書は自民・公明などの反対で否決されましたが、共産党市議団は健康保険証を残すために、引き続き全力をつくします。

## 一般質問

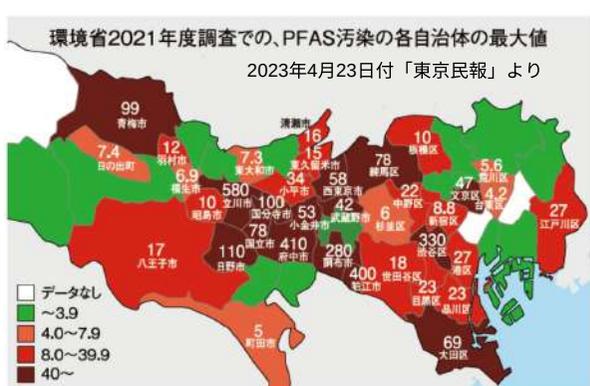


鈴木ゆうじ

## 八王子の水は安全か

水道水に使っていた地下水が有機フッ素化合物(PFAS)によって汚染され、東京都は34か所の井戸からの取水を停止しました。市は「本市の井戸も都の平成22年当時の検査で50ng/Lを検知したことがある」と答えました。しかし都が公表した34か所の井戸の中には本市の井戸が入っています。国が50ng/L以下の水質基準を決めたのが令和2年5月ですが、その後には本市の井戸も他市と同様に取水停止しています。

また、市民団体が多摩地域の市民の血清中濃度を検査したところ、650人中51%以上が、健康に影響(腎臓がん等)がでると言われている20ng/mLを超えていたことが判明しました。最大で124.5ng/mLの人もいました。八王子市民の方では最大29ng/mLと報告されています。



市長に原因究明・早期対策を求めたところ、「都に市長会を通して要望書を提出した」ことを明かしました。



市川かつひろ

## 今こそ学校給食無償化へ

学校給食は戦後から現在まで、こどもの健康と命を守る役割があります。学校給食の無償化が都内23区を中心に大きな広がりを見せています。

八王子市は国の動向を注視する姿勢にとどまり、給食の無償化を議論の対象として捉えています。学校給食費は、自治体の判断で無償にできます。

私は、市としてすべての子どもたちを対象に学校給食の無償化を議論の対象として検討を始めるべきだと質しました。共産党市議団は、市民の皆さんと力をあわせて学校給食の無償化を実現します。

